

平成27年度 吉田町一般会計決算



平成27年度一般会計決算の概況

だれもが住みたくなる「豊かで勢いのあるまち」の実現のために執行した決算額

歳入総額 103億861万円

歳出総額 97億9,778万円

歳入歳出差引額 5億1,082万9千円

(平成28年度へ繰越した金額)

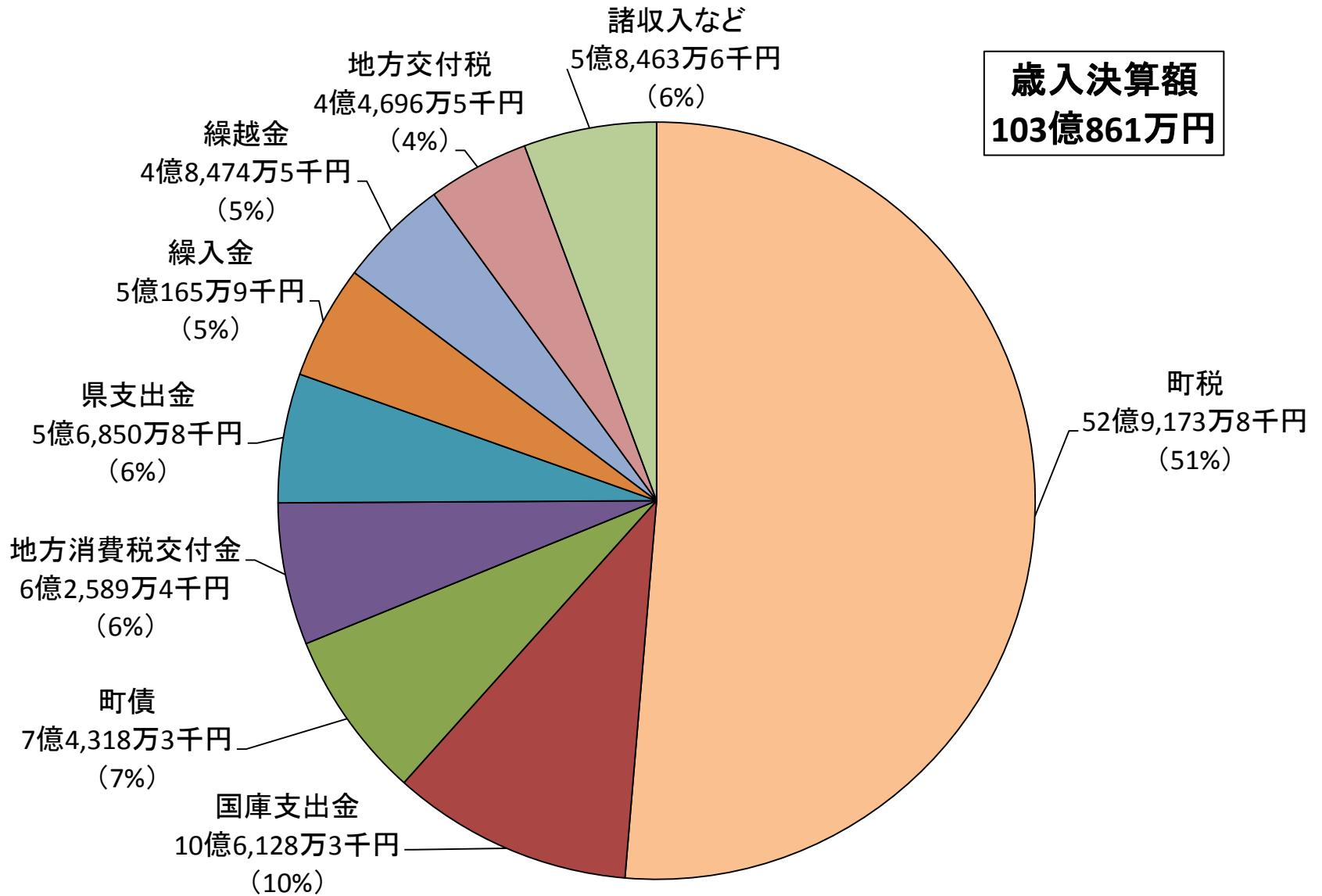
5億1,082万9千円のうち

○使途が決まっている額 8,297万4千円

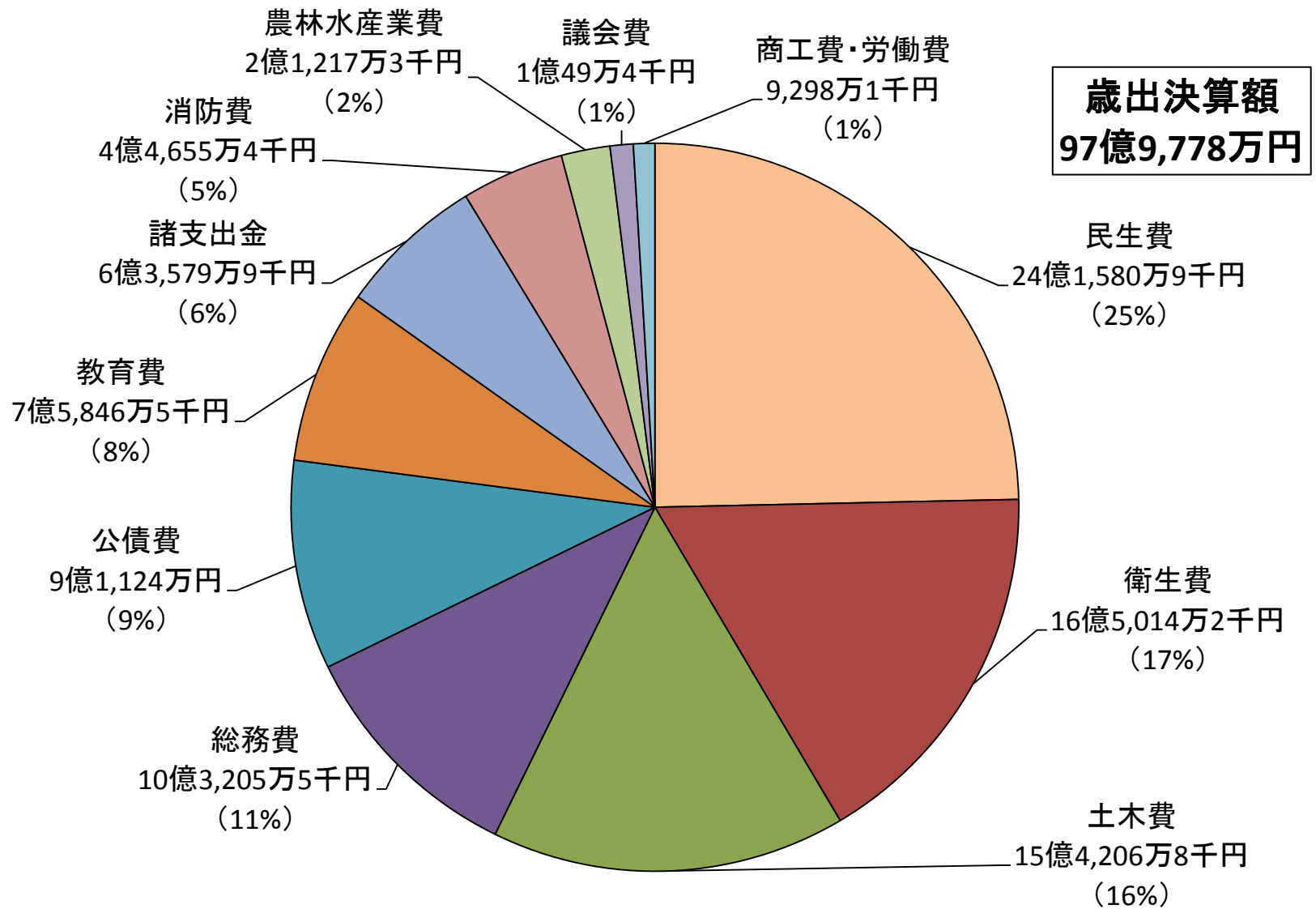
○使途が決まっていない額 4億2,785万5千円

※千円未満切り捨てのため、差引額が合わない場合があります。

歳入構成



歳出構成



平成27年度の主な成果 ①

【健康・福祉】

※ 金額は決算額

保健衛生管理費 2,897万5千円



1月に完成した母子保健室

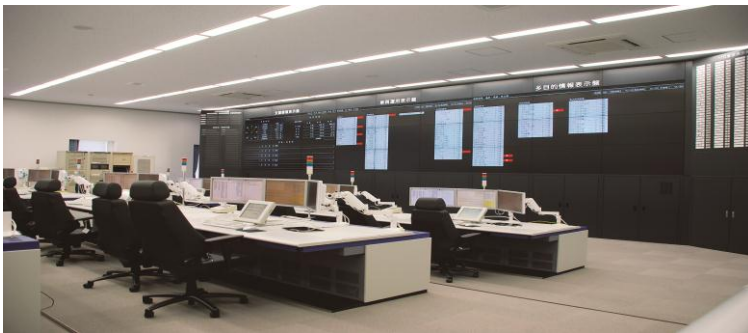
健康づくり事業費 201万9千円



11月1日に開催したウォーキングイベント

【生活環境】

消防救急広域化事業費 5,124万円



消防救急デジタル無線や消防総合情報システムの整備

防災意識向上事業費 204万9千円



10月、11月に開催された地域防災指導者養成講座

平成27年度の主な成果 ②

【教育・文化・交流】

※ 金額は決算額

教育振興事業費 6,437万2千円



ラーニングプランに基づき町独自の学力調査を実施

小・中学校維持管理費 2億3,191万8千円



天井落下防止対策工事を行った自彊小学校体育館

【都市整備】

避難路整備費（6路線）3億473万1千円



3月31日に供用開始した富士見幹線

町営住宅管理費 2,523万9千円



外壁塗装及び屋上防水改修工事を行った松下団地A棟

平成27年度の主な成果 ③

【産業振興】

※ 金額は決算額

水産基盤整備事業費 8,136万4千円



多目的広場の整備に向け測量調査を実施した川尻海岸

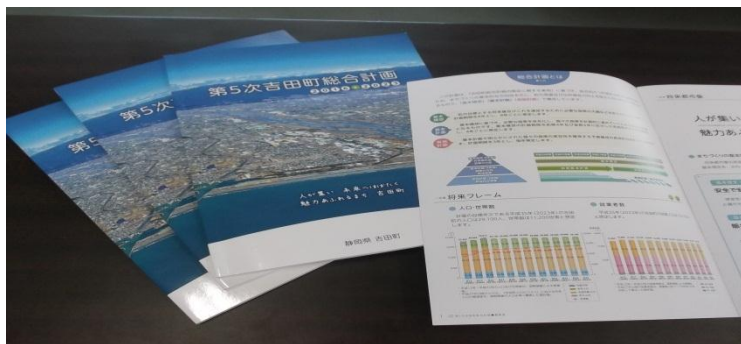
商工業振興費 3,641万6千円



経済活性化のために発行したプレミアム商品券

【基本計画推進に向けて】

吉田町総合計画策定事業費 1,005万8千円



3月に策定した第5次吉田町総合計画

地域のにぎわい創生事業費 546万7千円

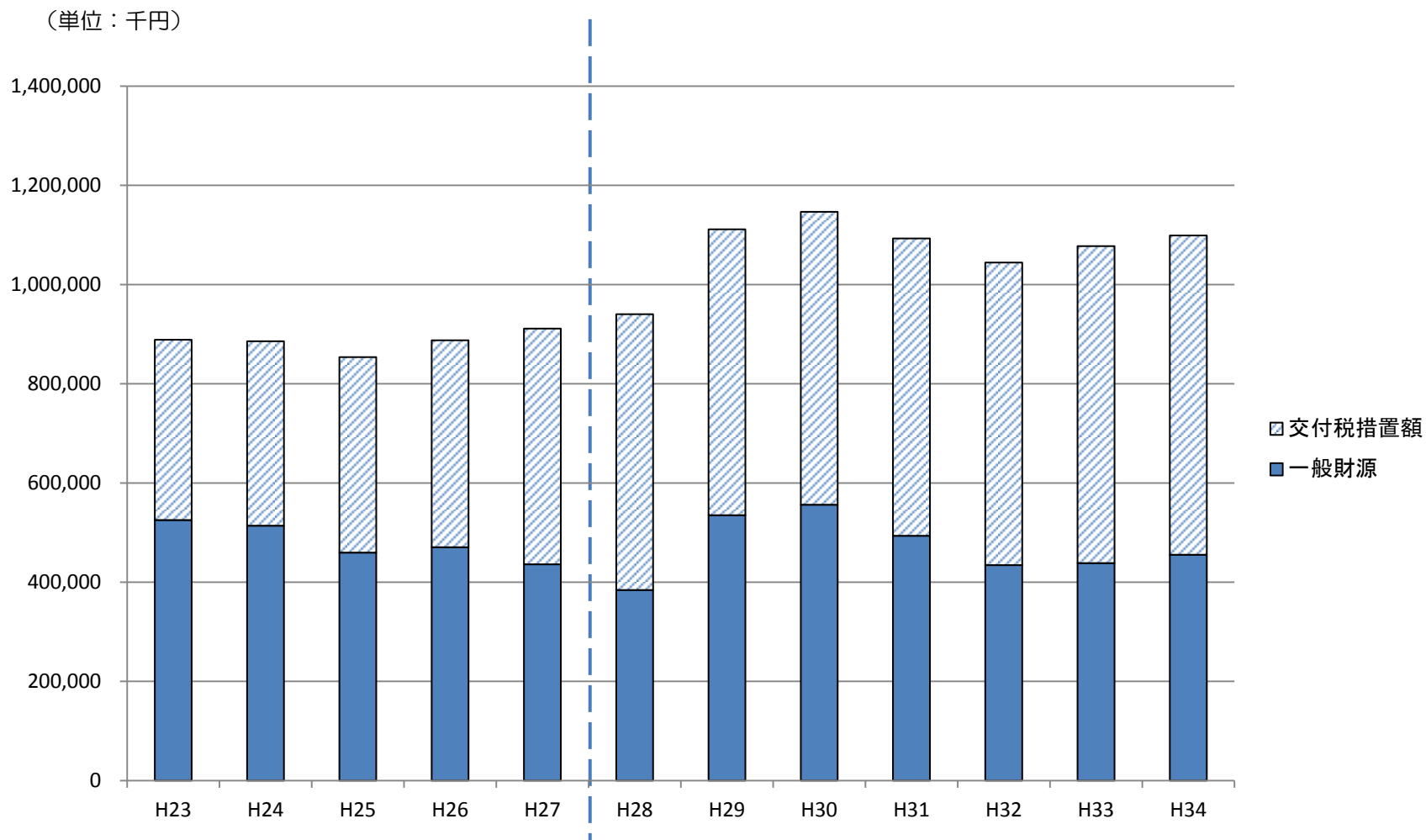


防災と賑わいを兼ね備えた多目的広場のイメージパース

吉田町の財政シミュレーション



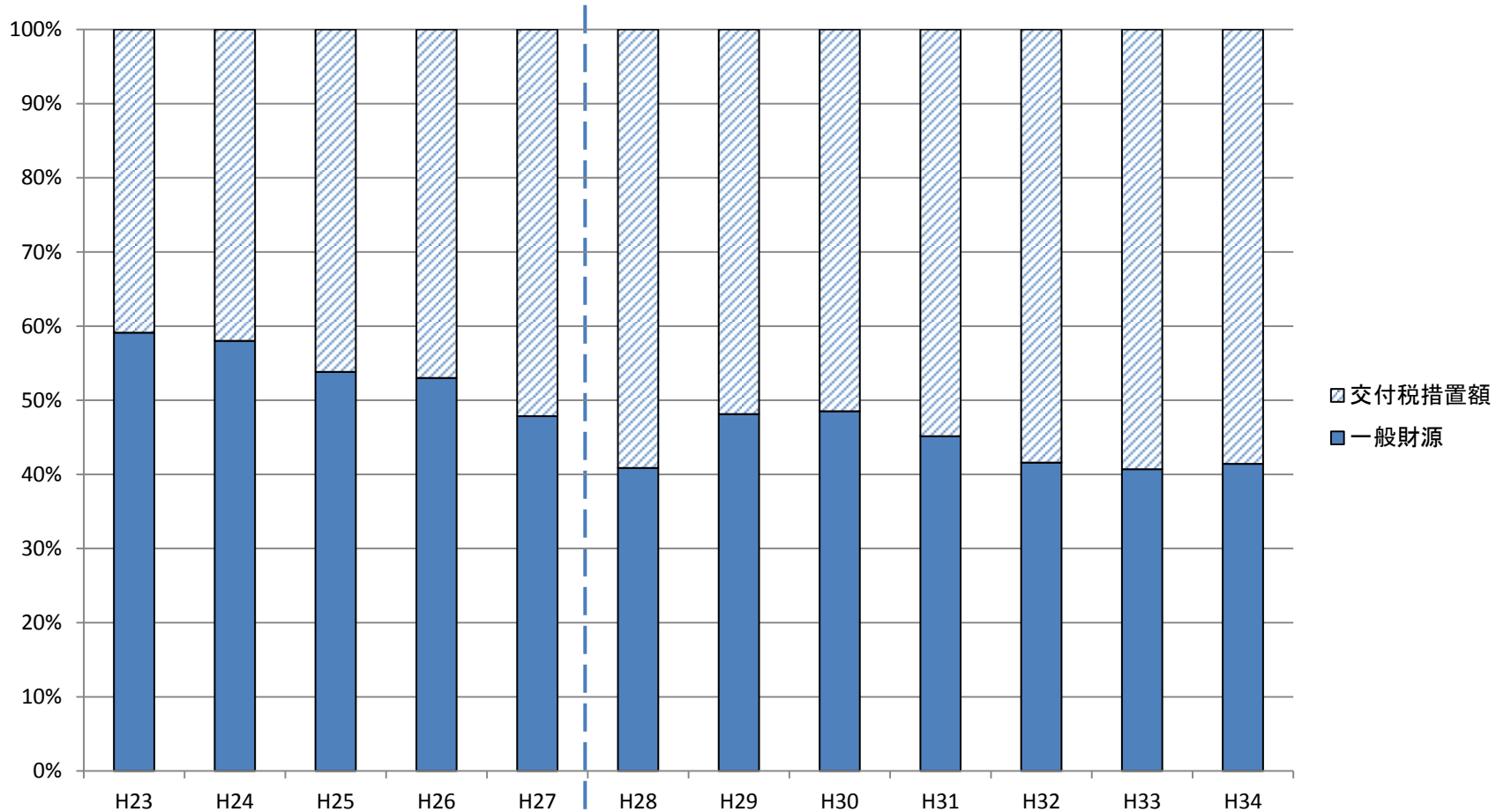
町債の元利償還額の推移



※H27までは実績値 H28からはシミュレーション

町債の元利償還額の財源内訳比率

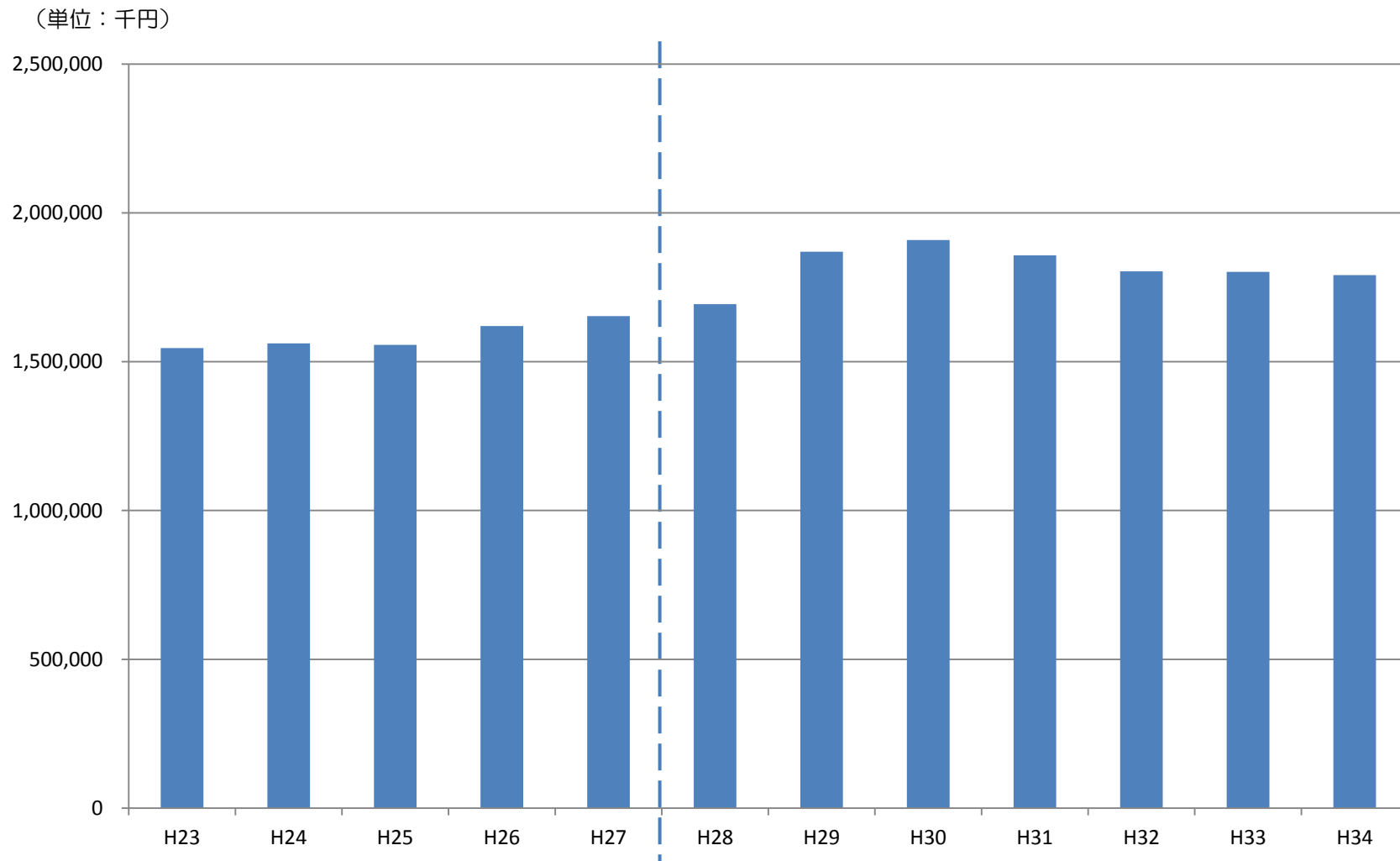
町債の元利償還額を100%とした場合



※H27までは実績値 H28からはシミュレーション

町全体の町債の元利償還額の推移

※一般会計+下水道事業特別会計+水道事業会計

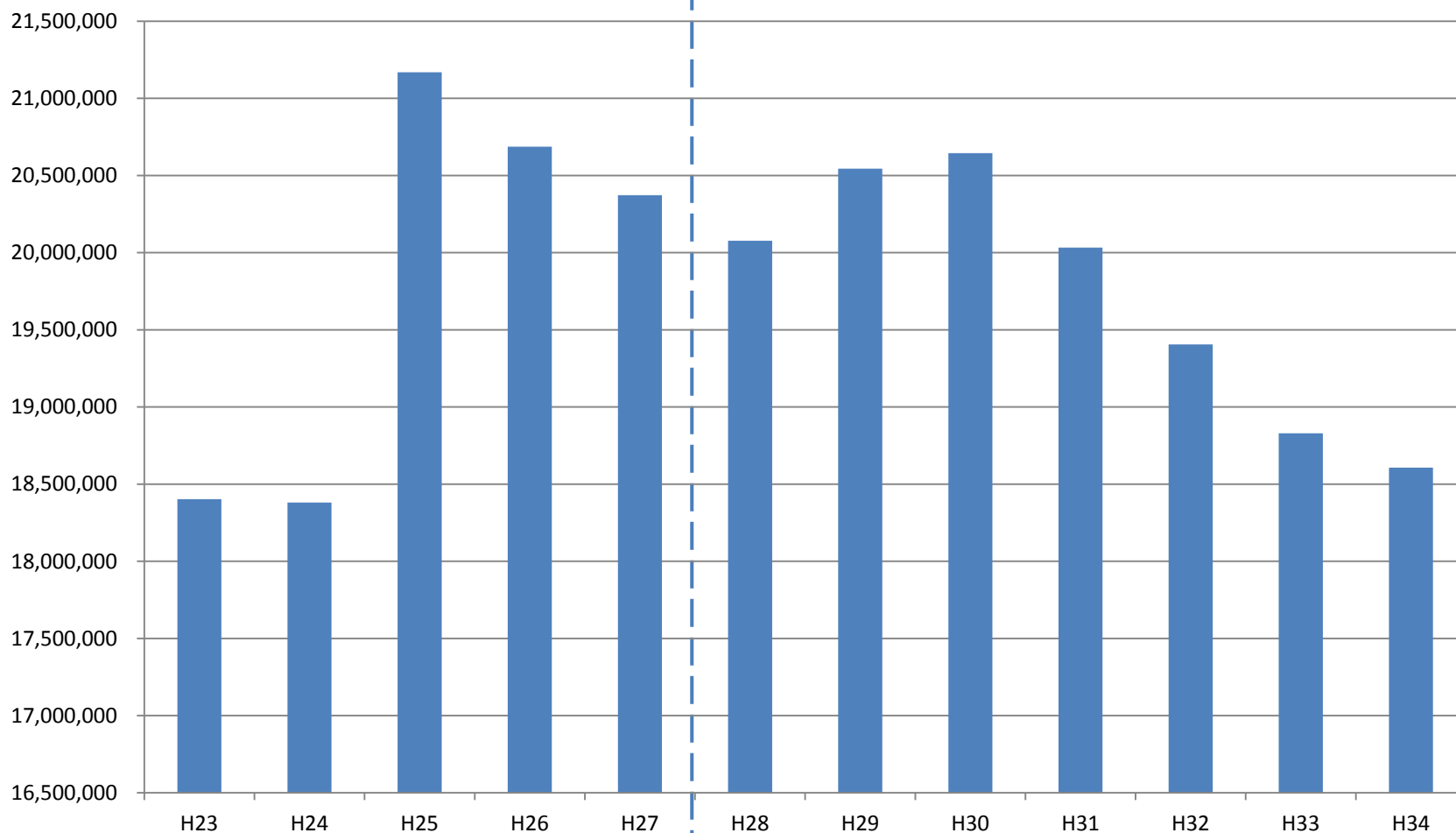


※H27までは実績値 H28からはシミュレーション

町全体の町債残高の推移

※一般会計+下水道事業特別会計+水道事業会計

(単位：千円)



※H27までは実績値 H28からはシミュレーション



ご清聴ありがとうございました。

平成28年度 町政報告会

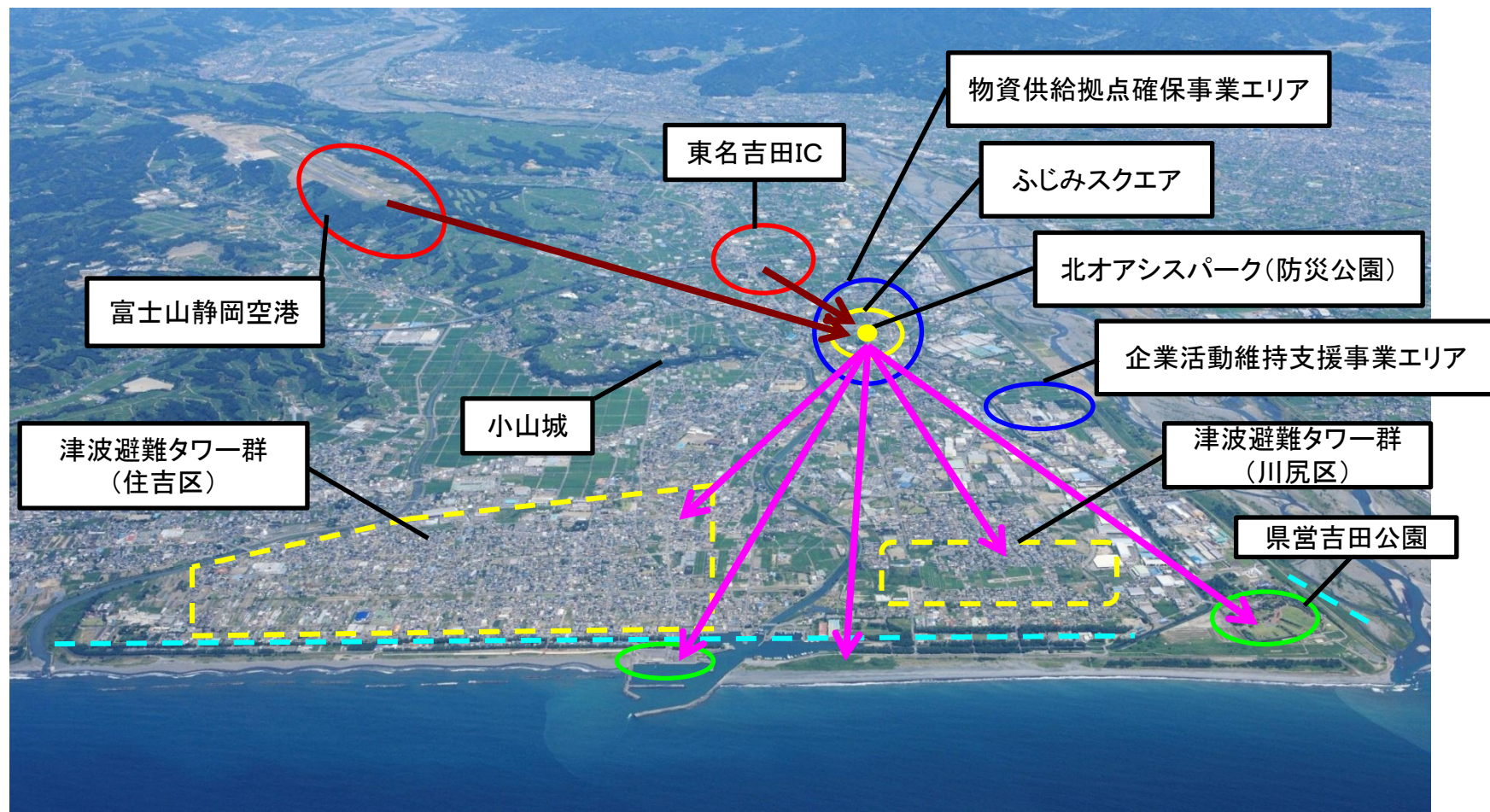
シーガーデンシティ構想



シーガーデンシティ構想

～『新たな安全』と『新たな賑わい』の創出による魅力あるまちづくり～

1000年に一度の大津波への備えを「津波防災まちづくり」を進めることによって構築し、『新たな安全』を創出するとともに、「津波防災まちづくり」を進める中で整備される北オアシスパーク（防災公園）の情報発信機能を活用しながらシーガーデン（多目的広場、海浜回廊、河川防災ステーション、県営吉田公園など）や町内各所への人の流れを「賑わいまちづくり」によって喚起し、『新たな賑わい』を創出する取組を一体的に進め、魅力あるまちづくりを行ってまいります。



津波防災まちづくり

○津波防災まちづくりによる新たな安全の創出

命を守る対策

財産、生産活動を守る対策

被災時の生活支援対策

賑わいまちづくり

○沿岸地域における新たな賑わいの創出

一体化

豊かで勢いのある魅力的なまち

シーガーデンを活用した取組

・シーガーデンとは、多目的広場、海浜回廊、河川防災ステーション、県営吉田公園などで構成される沿岸部の総称であり、町の防災対策と賑わい創出の2つの側面を持つエリアのことです。



- ・多目的広場の整備
「防潮堤」と「賑わいの場」の機能を併せ持つ多目的広場の整備



平成27年度
ボーリング調査、土質試験

平成28年度
多目的広場盛土工事地鎮祭（8/31）

川尻海岸

内陸のフロンティアを拓く取組 【企業活動維持支援事業】

企業移転、企業誘致のための土地の確保



コンセプト

- 沿岸部からの企業移転に対応するための受け皿づくり
- 新たな企業誘致による産業振興
- 災害時における応急仮設住宅用地としての活用

川尻・高島地区(上空から)

平成25年度

吉田町内陸のフロンティアを拓く総合特区推進本部設立

平成27年度

吉田町内陸のフロンティアを拓く総合特区(企業活動維持支援事業区域)推進協議会

平成28年度

企業誘致及び企業の進出に向けた環境整備(受け皿の確保)

内陸のフロンティアを拓く取組 【物資供給拠点確保事業】

ふじみスクエアの開発

- ・北オアシスパークの整備
- ・災害時の物資供給拠点となる商業施設の誘致 など



コンセプト

- 物資供給に関する協定の締結による防災拠点機能の確保
- 町の玄関口、情報発信拠点の創造（町の魅力や観光などの情報発信）
- 商業施設の誘致による賑わいの創出

ふじみスクエア(イメージ)

平成24年度～平成28年度

防災公園整備

平成28年度

防災公園（北オアシスパーク）及び防災公園管理棟（オアシス館）完成式典（10/4）

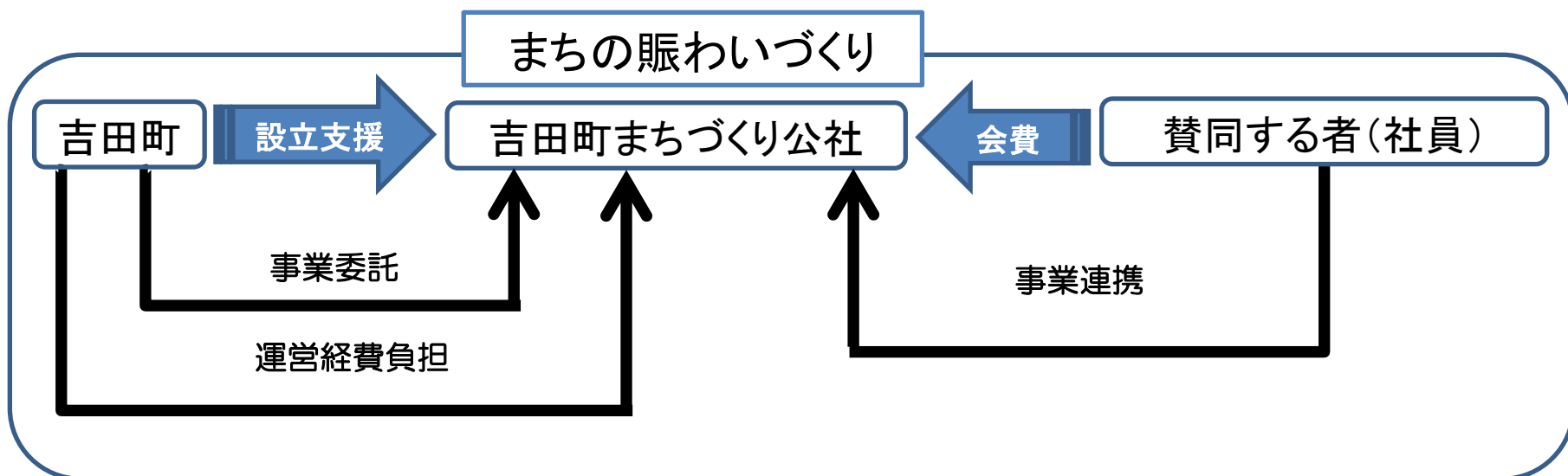
・株式会社ノジマ及びマックスバリュ東海株式会社と「災害時物資供給支援協力に関する協定」及び「災害時荷捌き拠点に関する協定」を締結

新たな賑わいの創出に向けた取組

一般社団法人吉田町まちづくり公社 ～新たな賑わいづくりのパートナー～

町と連携し賑わいづくりを担うパートナーとして、平成28年5月27日に
「一般社団法人吉田町まちづくり公社」が設立しました。

【吉田町まちづくり公社連携イメージ】



吉田町まちづくり公社の概要

社員相互の連携・協力により、防災まちづくり及び地域活性化の推進機構として、町勢の発展と公益の増進に寄与することを目的とします。

社員

(公社の目的に賛同いただいた下記団体から選出された者)

- 吉田町商工会
- ハイナン農業協同組合
- 南駿河湾漁業協同組合吉田支所
- 静岡うなぎ漁業協同組合
- 静岡銀行吉田支店
- 島田信用金庫吉田支店
- 富士フイルム株式会社吉田南事業場
- 吉田町

平成28年度の受託業務

- **まちづくり情報発信プラットフォーム構築**
まちの賑わいづくりと地域内外の交流促進を目的とし、まちの魅力的な情報を一元的に発信するプラットフォームを構築する。
- **企業間ネットワークの活用による賑わい創生**
企業間交流の活性化を目的とし、企業間ネットワークを活かした情報共有、ワーク・ライフ・バランス等の普及促進、婚活イベント等を実施する。



ご清聴ありがとうございました。

平成28年度 町政報告会

子育て支援



妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援



出産・子育てができる環境を整備します。

【妊娠前】

第1 不妊に悩む方への支援

【妊娠前～出産後】

第2 妊娠・出産への支援

【妊娠期～乳児期頃】

第3 妊娠期から子育て期までのワンストップ総合支援

【乳児期～就園前】

第4 地域子育て支援拠点の充実

【乳児期～就学前】
※一部～児童期】

第5 保育の充実

【児童期】

第6 放課後児童健全育成事業の充実



第1 不妊に悩む方への支援 【妊娠前】

【窓口】 吉田町保健センター

一般不妊治療費助成事業

6万3千円以内／一夫婦当たり

※年齢制限あり

特定不妊治療費助成事業

※H28年度 助成内容拡充

特定不妊治療費分

上限30万円／一夫婦1回当たり

男性不妊治療費分

上限10万円／一夫婦1回当たり

※年齢及び回数制限あり

不妊相談



第2 妊娠・出産への支援

【妊娠前～出産後】

【窓口】 吉田町保健センター

妊娠前に

“ママからベビーへ ファーストプレゼント” 事業
(妊娠前麻疹等感染予防助成金)

※H28年度 新規事業

- ① 20歳以上40歳未満の既婚女性へ抗体検査費助成（各1人1回）
麻疹、水痘、おたふくの抗体検査：上限5千円
- ② ①で抗体価の低い方へ予防接種費助成（各1人1回）
麻疹、おたふく予防接種：上限6千円
水痘予防接種：上限8千円

出産後に

出産等支援交通費助成事業

※H28年度 新規事業

妊婦健診や出産時の通院のための交通費助成

妊娠85日以後に出産した方へ、**3万円**／出産1回

第3 妊娠期から子育て期までのワンストップ総合支援

【妊娠前～乳児期頃】

子育て世代包括支援センター事業

※H28年度 新規事業

★吉田町保健センター内に「子育て世代包括支援センター」を設置

○妊娠期から子育て期までの
総合的な相談や支援

○母子保健コーディネーター
（助産師・保健師）を配置

○妊娠期からのサービス利用
をコーディネート



母子保健コーディネーター

第4 地域子育て支援拠点の充実

【乳児期～就園前】

地域子育て支援センター事業

「地域子育て支援センターすみれ」
…すみれ保育園併設

《移動支援センター》
「地域子育て支援センターわかば」
…わかば保育園内、週1回
「住吉会館」…月1回



地域子育て支援センターすみれ



第5 保育の充実

【乳児期～就学前、一部～児童期】

公立保育園

生後9か月児～就学前の乳幼児対象

★待機児童ゼロを継続中

一時預かり事業

就園前の乳幼児を一時保育します。

ファミリー・サポート・センター事業

育児の援助を受けたい方と援助してくださる方をマッチングし、助け合いによる保育のしくみをつくります。

※H28年度 新規事業
立ち上げ予定



保育の様子

第6 放課後児童健全育成事業の充実

【児童期】

放課後児童クラブ

小学校の放課後に、保護者が昼間家庭にいない児童が利用

小学校1年生～6年生対象

★待機児童ゼロを継続中

第3子以降の利用料無料化

※H28年度 新規事業



中央小学校区第3放課後児童クラブ



自彊小学校区B放課後児童クラブ



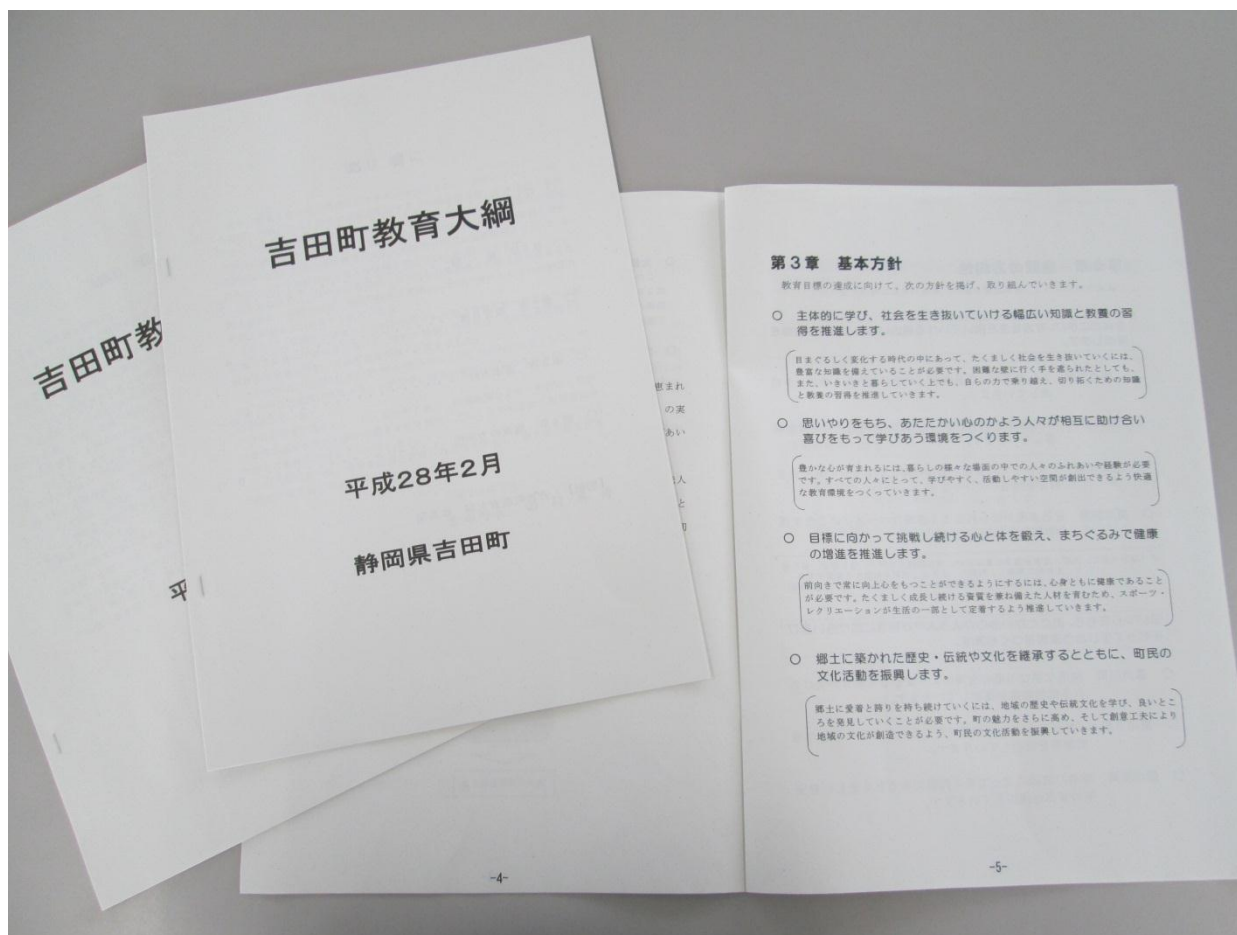
ご清聴ありがとうございました。

平成28年度 町政報告会

教 育



生涯にわたり 学びあい 高めあう 人づくり



吉田町教育大綱

吉田町教育大綱の体系図（平成28年度～平成31年度）

教育目標

基本方針

施策の方向性

生涯にわたり
高めあう
学びあい
人づくり

主体的に学び、社会を生き抜いていける幅広い知識と教養の習得を推進します。

- 重点施策 切れ目のない効果的な「つながりのある教育」を推進していきます。
- 重点施策 将来を担う子供たちへの「確かな学力の定着」を推進していきます。
- 重点施策 一人ひとりの個性と発達段階に応じたきめ細やかな教育を推進していきます。
- 重点施策 自己実現が図られるよう多様なニーズに応じた生涯学習活動を推進していきます。

思いやりをもち、あたたかい心のかよう人々が相互に助け合い喜びをもって学びあう環境をつくれます。

- 重点施策 快適な学びの場の充実により安心して教育が受けられる環境整備を推進していきます。
- 重点施策 「地域の子どもは地域で育てる」ことを目指した地域教育を推進していきます。
- 重点施策 相手の立場に立って考え行動できるたくましい青少年の育成を推進していきます。

目標に向かって挑戦し続ける心と体を鍛え、まちぐるみで健康の増進を推進します。

- 重点施策 いつでもどこでも誰もが気軽に楽しめるスポーツ振興を推進していきます。
- 重点施策 スポーツ・レクリエーション活動を支える団体の育成・連携を推進していきます。

郷土に築かれた歴史・伝統や文化を継承するとともに、町民の文化活動を振興します。

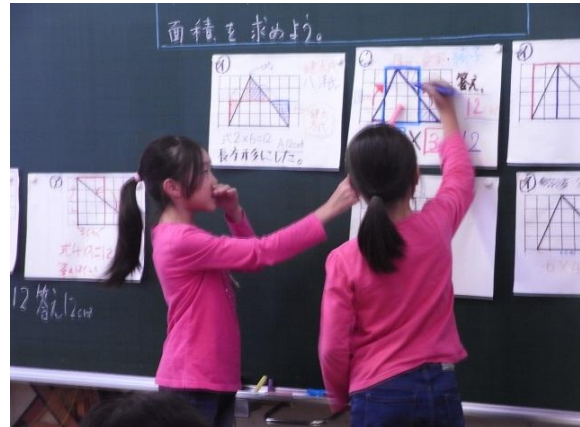
- 重点施策 地域の歴史・伝統や優れた芸術文化にふれ親しむ機会の充実を推進していきます。
- 重点施策 町の魅力を高める文化活動を推進していきます。

重点施策

切れ目のない効果的な「つながりのある教育」を推進していきます。

将来を担う子供たちへの「確かな学力の定着」を推進していきます。

自己実現が図られるよう多様なニーズに応じた生涯学習活動を推進していきます。



幼児教育
カリキュラム

ラーニングプラン

シニアカレッジ

幼児教育カリキュラムの作成

【目的】

幼稚園、保育園、小学校、家庭・地域が指導のねらいや内容を共有し、実践できるようにする。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10項目)

健康な
心と体

自立心

協同性

道徳性・
規範意識
の芽生え

社会生活
との関わり

思考力の
芽生え

自然との関わり
・生命尊重

数量・図形、
文字等への
関心・感覚

言葉による
伝え合い

豊かな感性
と表現

幼児教育カリキュラムの作成

幼・保育園から小学校へ つながりある教育推進



吉田町 来春の完成目指す カリキュラム

吉田町幼児教育カリキュラム作成委員会の初会合が7日、町役場で開かれた。幼稚園や保育園から小学校へと「つながりのある教育」を推進しようと、教職員や保護者らが来年2月の完成を目指して内容を詰めていく。

幼稚園の教諭や保育士、小学校の教諭や保護者ら19人が委員を務める。千葉大教育学部の松崎洋子教授が委員長に就き、町立中央の小嶋浩之校長が副委員長に選任された。町教委が今後のスケジュールを説明し、年内に原案を作成した上で、来年1月にパブリックコメントを実施して町民の意見も取り入れていくことを

確認した。グループワークに立ち、松崎委員長が幼児教育を取り巻く最新の動向を紹介。これを踏まえ委員は、健康な心と体▽思考力の芽生え▽自立心―など「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のどこに日ごろの活動が当てはまるか振り返った。

町教委は「幼保、小学校の関係者が吉田町の子どもをどう育てていくかの共通認識を持ち、実現へ向けてカリキュラムを作成

＝吉田町役場

吉田町ラーニングプラン

〈教師の授業力向上〉

- 外部講師による指導助言
- 補助教員の活用
- 嘱託指導主事による授業改善指導

〈調査の活用〉

- 吉田町学力調査
(4月、11月)
- 全国学力・学習状況調査
(4月)

〈児童生徒の学力向上〉

- 公設学習塾（←土曜学習会）
- 放課後補充学習、夏季補習
- 補充学習用教材の購入

〈保・幼・小の連携〉

- 幼稚園教諭、保育園保育士、小学校教諭の交流
(公開授業、研修会)

〈家庭教育の充実〉

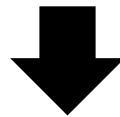
- 家庭学習の手引きの作成、配布
- 家庭教育学級における啓発活動

公設学習塾

土曜学習会（平成26年度～平成27年度）
児童生徒が個々に進める学習をサポートするための学習会



吉田町学力調査の結果分析を踏まえた適切な教材を提供
主体的な学習の仕方を身に付ける指導



公設学習塾（平成28年度～）

1038人（第1回～第6回 参加児童生徒述べ人数）
96%「学習意欲につながっている」（保護者アンケート）
感想「学習時間が増えた」
「解いた問題を嬉しそうに見せてくれる」
「苦手が減った」・・・

静岡 2016.6.19 22面
(第三種郵便物認可)

「公設学習塾」スタート

吉田町教委、基礎学力定着狙い

小中250人 弱点克服へ

小中学生の基礎学力定着や学習意欲を引き出そうと、個々の弱点に応じて教諭らが支援する吉田町教育委員会の「公設学習塾」が18日、始まった。町教委の予想を50人ほど上回る約250人の児童生徒が参加した。町立吉田中を拠点に来年2月まで計11回、プリント学習などを通じて苦手分野を克服していく。



吉田町は2014年度から全国学力テストに合わせ町独自のテストを実施。14、15年度は児童生徒が宿題を持ち込む形の「土曜学習会」を開いてきた。本年度からは、町テストを委託してきたベネッセコーポレーション（岡山市）と連携。テスト結果を分析し、個々の適性に合ったプリント教材を用意する。学習教材は中学生が基礎学力の底上げへ本年度から始まった無料の「公設学習塾」＝吉田町立吉田中

吉田町シニアカレッジ

【目的】 生涯にわたり学習機会を提供することで、いきいきと充実した生活を送ることができる場を提供するために実施します。

【寿大学と吉田町シニアカレッジ】

寿大学は・・・
交通安全教室や、健康づくり講座などの生活に身近な教養講座を実施



シニアカレッジは・・・
歴史の講座や落語講座など、大学教授等専門家による、より専門性の高い授業を実施



高齢者の学習ニーズに対応したより高い知識の習得



生涯にわたり 学びあい、高めあう 人づくり

吉田町シニアカレッジ設立委員会

◆ 目的

学習ニーズに応えると同時に参加しやすいシニアカレッジとするため、吉田町シニアカレッジ設立委員会を設置

◆ 設立委員には・・・

- ・ 静岡大学教授
- ・ 吉田町社会教育委員
- ・ 静岡県人づくり推進委員
- ・ 文化協会代表
- ・ さわやかクラブ連合会代表
- ・ 一般の高齢者の方5人 の計10人が参加



◆ こんな内容を計画しています。

- ・ 笑いの落語講座
 - ・ 楽しい園芸
 - ・ 大河ドラマの楽しみ方
 - ・ 吉田町の歴史
 - ・ エンディングノートの作成 など
- ※シニア世代がいきいきできる講座を考案中

◆ 実施要項(H28案)

期 間	平成28年11月～29年3月
場 所	吉田町中央公民館
資 格	町内在住の満60歳以上の方（原則）
受 講 料	10,000円（10回）
募集人数	40人
内 容	午前：教養講座 午後：サークル活動等



ご清聴ありがとうございました。